

し ぶ し か の や く し ら
主な実施状況（志布志IC(仮称)～鹿屋串良JCT区間）

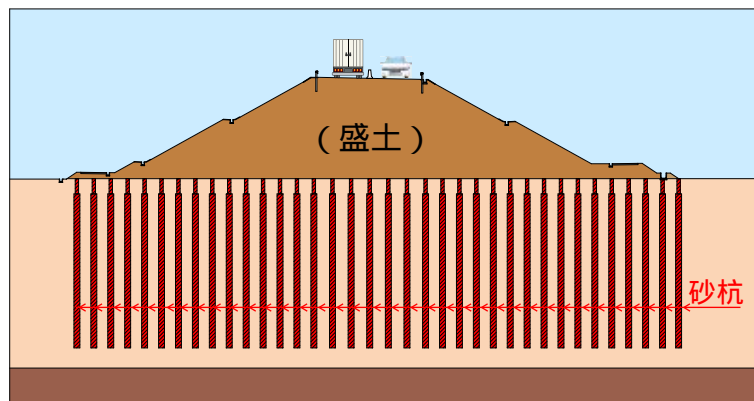
し ぶ し か の や く し ら
 志布志IC(仮称)～鹿屋串良JCT間では、橋梁上・下部工工事、土工工事など、全面的に工事を実施しています。また、地盤改良工事や埋蔵文化財発掘調査も推進しています。

地盤改良工事実施状況

盛土箇所を地質調査した結果、液状化する砂層や地下水が高いことが確認されたため、サンドコンパクションパイル工法により対策をします。

さぶらうまる
 バイプロハンマによる砂杭の施工状況（三郎丸地区）

対策工事例(サンドコンパクションパイル(SCP工法))



液状化：地下水位の高い砂地盤が地震の振動により液体状になる現象。

サンドコンパクションパイル工法：ゆるい砂の地盤に砂杭を打設することで砂の密度を高め、液状化が起きにくい地盤にします。

埋蔵文化財発掘調査実施状況

大隅半島には県本土の約4割の遺跡が存在し、当該区間においても17箇所の遺跡があります。

文化財包蔵地分布状況



かすがぼり
 発掘作業状況（春日堀遺跡）



はいせきいこう こまき
 配石遺構（小牧遺跡）



縄文時代後期の石皿

どうさく まきやま
 銅鑿（牧山遺跡）



弥生時代の青銅製の鑿（国内3例目）